

# 単元構成表【公民的分野】

平成28年度 北海道教育大学附属函館中学校社会科

単元名	(3) 私たちと政治 ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則
教科用図書での単元名 (頁数)	東京書籍「新編 新しい社会 公民」 第1章 わたしたちの生活と現代社会 3節 現代社会の見方や考え方 (p.24-31)
学習指導要領における内容	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めさせ、法の意義を理解させるとともに、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考えさせる。また、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについての理解を深め、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。
学習指導要領における内容の取扱い	「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」については、日常の具体的な事例を取り上げ、日本国憲法の基本的な考え方を理解させること。

単元の指導目標		人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めさせ、法の意義を理解させる。
単元の評価規準	社会的事象への関心・意欲・態度	人間の尊重について考え方と法に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。
	社会的な思考・判断・表現	基本的人権の尊重を中心とした人間の尊重についての考え方と、日本国憲法をはじめとした法との関連から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用の技能	人間の尊重についての考え方と法に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
	社会的事象についての知識・理解	全ての人間に保障されるべき基本的人権の考え方や人間の尊重の考え方は法によって保障されていること、基本的人権の理念は人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であり価値あるものであること、基本的人権の理念は現代の社会生活における人間の生き方の指針となると考えられることを理解し、その知識を身に付けている。
単元を貫く学習課題		<p>( ) は「新しい人権」として保障されるべきか？</p> <p>* ( ) には現代社会の特色を踏まえて「新しい人権」として保障されるべきと考える具体的な人権を生徒個人が設定する。</p>
「単元を貫く学習課題」設定のための手立て		単元前の授業において、「単元を貫く学習課題のための学習課題」として、生徒個人が取り組む「現代社会の特色から、保障されるべき人権は何か？」を設定する。ここで生徒が考えた「保障されるべき人権」を、「単元を貫く学習課題」の( )内に定め、生徒個人の学習課題として設定する。

時数	題材	指導内容	「単元を貫く学習課題」を解決するための知識等
		本時の学習課題	
pre	「単元を貫く学習課題」の設定	「単元を貫く学習課題のための学習課題」として、「現代社会の特色から、保障されるべき人権は何か？」を設定し、その「保障されるべき人権」を、「単元を貫く学習課題」の( )内に定め、生徒個人の学習課題として設定する。	・基本的人権は普遍的な理念であり、日本国憲法で規定されている人権のみが保障されるのではなく、全ての人間にあらゆる人間尊重の考え方に基づいた基本的人権の享有は妨げられない。
1	1 新しい人権① —産業や科学技術の発展と人権—	日本国憲法に直接的には規定されていない「新しい人権」が主張されるようになった背景や、その具体例としての「環境権」や「自己決定権」などの考え方について  ( ) は「新しい人権」として保障されるべきか？	・「新しい人権」は主に日本国憲法第13条に規定されている幸福追求権を根拠として主張されており、公害の深刻化に対して良好な環境を求める「環境権」や、人々の生き方の多様化に伴う「自己決定権」などがある。 ・科学技術の発展に伴って生命と人権に関して、尊厳死や安楽死、遺伝子技術などの課題が生じている。
2	2 新しい人権② —情報化の進展と人権—	「新しい人権」の具体例としての「知る権利」や「プライバシーの権利」などの考え方や、それらに基づいて整備された諸制度について  ( ) は「新しい人権」として保障されるべきか？	・「新しい人権」は、国や地方に集まる情報を手に入れる「知る権利」や、個人の私生活に関する情報を公開されない「プライバシーの権利」などがあり、それらを保障するために諸制度が整えられている。
3	3 グローバル社会と人権	普遍的な価値である人権を世界共通で保障するために国際連合が中心となって取り組んでいる条約の採択や取組について  ( ) は「新しい人権」として保障されるべきか？	・人権は普遍的な価値であり、世界共通で保障されるために、国際連合が中心となって人権保障のための条約の採択や取組が進められている。 ・グローバル化に伴う地球環境問題や貧困問題、難民問題などの課題には持続可能な社会の実現を目指した国際的な取組が求められる。